

## 事務事業マネージメントシート

作成日 令和3 年 04 月 15 日

事務事業名	指定避難所整備事業				担当	市民生活部 くらし安全課 危機管理係				
政策名	5 「環境づくり」～安全なまちアップ！～				<input type="checkbox"/> 総重（総合計画重点事業）	<input type="checkbox"/> 総新（総合計画新規事業）				
施策名	6 防災体制の整備				<input type="checkbox"/> 戰拡（総合戦略拡充事業）	<input type="checkbox"/> 戰新（総合戦略新規事業）				
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 真岡市地域防災計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				
法令根拠	災害対策基本法					<input type="checkbox"/> 毎年度実施（開始年度 年度～）				
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1総務管理費	1一般管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 2 年度～ 3 年度）				
事業概要	<p>台風19号時に開設した指定避難所11箇所に防災備蓄倉庫を計画的に増築し、避難所開設時に必要な資機材を保管する。        ・指定避難所4・9箇所 内、水害（台風含）時開設可能避難所2・8箇所        上記の内、優先的に開設する指定避難所1・1箇所にある資機材等を収納している防災倉庫の他、食料品やコロナ対策消耗品等を収納する備蓄倉庫を整備していく。</p>									

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）	④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移									
2年度実績 備蓄倉庫の設置数 7カ所（内、二宮コミセンは、既存の倉庫を再利用） ・真岡小学校、大内東小学校、久下田小学校、真岡中学校、山前分館、中村分館	名称	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(見込)			
	ア 備蓄倉庫数	件					7	4		
	イ 備蓄倉庫設置数（新規）	件					6	4		
	ウ									
	エ									
	オ									
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然资源等 優先的に開設する11カ所の指定避難所	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移									
	名称	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(見込)			
	ア 備蓄倉庫の設置避難所数（既設倉庫含）	所					7	11		
	イ									
	ウ									
	エ									
	オ									
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 指定避難所の充実を図ることにより、避難所開設及び運営の初期対応の迅速化と円滑化を図る。	⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移									
	名称	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(見込)			
	ア 備蓄倉庫の整備率	%					63.6	100.0		
	イ									
	ウ									
	エ									
	オ									

(2) 総事業費の推移			単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
投 入 量	事業 費 財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	3,595	2,700
		事業費計（A）	千円	0	0	0	3,595	2,700

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 備蓄倉庫を設置し、有事に備えることで、優先的に開設する11カ所の指定避難所の迅速な開設及び運営が可能となり、早い段階で避難者の受け入れ態勢を確保できる。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 本市が指定する11カ所の該当指定避難所の充実を図るものである為必要がある。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) 災害や、その被害の規模によって、避難者数は異なる。日頃から有事に備え、予め備蓄品を整備するなど該当指定避難所の充実を図ることで、市民が安心して避難できるよう準備をしておくことが重要である。 対象・意図を見直すことができない。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 備蓄倉庫を整備することで、該当する避難所の充実を図ることができた。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携ができる（類似の事務事業名： ） <input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携できない（類似の事務事業名： ） <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由) 指定避難所の整備は、市の責務である為、統合及び連携はできない。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 市が整備するものであり、入札により、最低限の事業費で実施しているため削減の余地はない。

## 3. 改革・改善方向の部

### (1) 改革の方向性（改革案・実行計画）

廃止 見直し（：目的妥当性 ：有効性 ：効率性 ：公平性） 統合 継続  
避難所の充実を図るため、継続して備蓄倉庫の整備を行う。

### (3) 改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

### (2) 課題、課題の克服の方向性

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

### (1) 1次評価結果の客觀性と出来具合

記述説明不足（説明責任不充分） 評価内容が客觀性を欠く 評価内容は客觀的と言える

### (2) 2次評価者としての評価結果

①目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり

### (5) 改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

### (3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止 休止 目的絞込み 目的拡充  
事業統廃合 事業のやり方改善  
予算削減 予算増大  
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

### (4) その他2次評価会議で指摘された事項